

S. C. U(Solo Chair-Umpire)の方法

兵庫県高校体育連盟が主催する個人戦の審判は、敗者による SCU 方式で行われます。

顧問の先生方は、選手に SCU の方法を熟知させた上で試合に参加させて下さい。

- ① プレーヤーは、ネットから自分側のコートにおけるイン/アウト（フォールト）についてセルフジャッジします。
プレーヤーはジャッジに関して SCU の判断を仰ぐことはできません。
- ② プレーヤーはジャッジの際、大きな声とハンドシグナルを併用すべきです。
- ② ジャッジされた側の選手が確認のために SCU に目を向けた場合、SCU もうなずいたりハンドシグナルなどを行うべきです。
- ③ SCU は、プレーヤーのセルフジャッジが”明らかに間違い”であると判断したときだけオーバールールできます。判定できない際どいボールはプレーヤーの判断を尊重します。
- ④ プレーヤーの「アウト（フォールト）」のコールを SCU が「グッド」とオーバールールした場合、ボールを相手コートに正しく返球できたとしても、そのコールをしたプレーヤーは失点します。
- ⑤ プレーヤーが明らかにアウト（フォールト）のボールをインとみなして返球したとき、SCU は、「アウト(フォールト)」とコールします。
- ⑥ SCU は、両選手と応援の者にも聞こえるように大きな声でスコアアナウンスを行うべきです。
- ⑦ SCU は、「サービレット」のコールをします。セルフジャッジの試合では、「サービレット」のコールはレシーバーが行いますが、SCU 方式の試合では、SCU だけがコールできます。
- ⑧ SCU は上記以外に「フットフォールト」、インプレー時の「ノットアップ」、「タッチ」その他の「ファウルショット」のコールを行います。
- ⑨ インプレー中、隣コートからのボールの侵入など、何らかの妨害があった場合には、SCU だけでなくプレーヤーも「レット」をコールできます。そして、そのポイントはファーストサービスからやり直すこととなります。